



令和 5 年 3 月 29 日
秋 田 大 学

秋田大学が秋田県の経営者を対象にした メンタルヘルスに関する オンライン調査の結果をまとめました

秋田大学（学長：山本文雄）は、2023 年 2～3 月に、秋田県の経営者を対象にしたオンライン調査を行いました。これは、経営者のメンタルヘルスの実態を明らかにし、働く人への自殺予防を行うための基礎資料とするために実施しました。

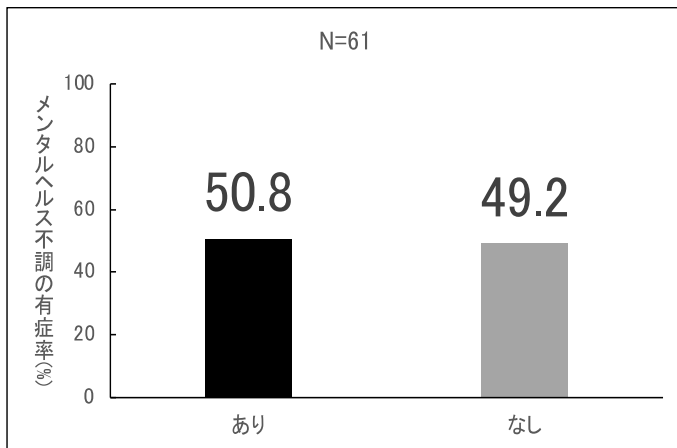
この調査は、秋田県の地域自殺対策強化事業費補助金の補助を受けた取組の一環として、秋田大学自殺予防総合研究センターが実施しました。

このたび、その調査結果をまとめましたので、公表いたします。

【調査概要】

調査対象 : 秋田県の経営者 12100 名のうち、回答があった 65 名(有効回答 61 名)
主な調査内容 : メンタルヘルス不調及び問題飲酒の有症率、主観的な経済・経営状況
調査方法 : WEB 調査
調査時期 : 2023 年 2 月 15 日～3 月 20 日

【調査結果のポイント】



(報告書から抜粋)P.5 図 11 メンタルヘルス不調の有症率

経営者の約半数がメンタルヘルス不調を抱えており、早急に受診が必要な人は約 4 分の 1 でした。また、約 6 割の人が健康や社会生活を送る上で影響が出る飲酒習慣を有していました。

個人の暮らし向きの悪さを感じている人は、約 4 分の 1 であり、コロナ以前と比較して、経営状況が悪化したと回答した人は 6 割強でした。調査の回答率は約 0.5%であり、回答者数が非常に少ないため、代表性のあるデータとは言えません。

一方で、経営者が自殺に至るまでの期間は被雇用者と比較して短いと言われており、また、回答者におけるメンタルヘルス不調の有症率の高さは、自殺リスクの高さを示唆しているため、経営者を対象にした自殺対策が喫緊の課題です。

調査・分析の結果は、秋田県と共有し、今後の効果的な支援策を検討するために活用します。

秋田大学自殺予防総合研究センターでは、秋田県の自殺者数減少を目指して、今後も各種調査研究・取組の実施を計画しています。

【調査に関する問合せ先】

秋田大学 自殺予防総合研究センター 特任助教 宮本 翔平

電話 : 018-801-7041

研究者情報 : https://akitauiinfo.akita-u.ac.jp/html/100001280_ja.html